

株式会社 出石まちづくり公社

決算書類

第21期

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

## 〔報告事項〕

第21期営業報告（平成30年4月1日～平成31年3月31日まで）

### I. 背景と成果

日本経済の現状をみると、世界経済の緩やかな回復を背景に、アベノミクスの三本の矢、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」により、企業の稼ぐ力が高まり、企業収益が過去最高となる中で、雇用・所得環境が改善し、所得の増加が消費や投資の拡大につながるという「経済の好循環」が着実に回りつつあると報道されていますが、直近では米中貿易摩擦激化などを踏まえ、経済界には先行きに懸念を感じる傾向が生じつつあり地方においては、多くの企業がいまだ実感を得られない状況が続いています。

そのような状況の中、当地におきましては、毎年懸念される秋口の台風や冬場の豪雪の影響もなく比較的到天候にも恵まれた1年でありましたが、観光客の入込総数は715,000人（昨年より3,000人減）となり、ここ近年の来訪観光客数が依然下降傾向となりました。

今期の売上は252,814,705円（前年対比98.6%）と売上減となり収支につきましても、経常利益7,453,813円、当期純利益5,326,657円（前年対比57.4%）の減収減益という結果となりました。

これらの現状を打開するため、昨秋より公社としては、新たに「まちづくり事業プロデューサー」として、古田篤司氏（観光地や商業地の再生・活性化を専門とするプロデューサー）を招聘しました。そして、全事業を通じて「出石のファンづくり」を戦略とした事業の見直しに着手しました。

年間約50万人来場している観光センターを「ファンづくり」の拠点として、定番・既存商品によりメリハリをつけ、北近畿・但馬・出石の魅力在前面に出した商品企画開発や、観光センター前で「出石屋台市」を企画し、様々な対面販売や体験を通じ新たな可能性や素材を掘りおこす等、新しい取り組みも行いました。

いずしトラベルサービス・観光ガイド事業では、観光誘客につながる着地型観光を目指し既存事業の見直しに取り組んで参りました。インバウンドを含め体験型の企画や観光ガイドプログラムの充実を図り、出石の素材を使い来訪観光客に更なる魅力的な観光コンテンツの企画開発に取り組ましました。

出石永楽館では、「落語プラン（落語&館内ガイド）」を中心に団体誘客が順調に推移し、出石永楽館の魅力を多くの来訪観光客に伝えられました。貸館・通常拝観も純増しており、今後も更なるファンをつくっていくために、永楽館での楽しみ方の提案をして参ります。

今年度は公社が発起者となり、出石町内の各諸団体に参加頂き「大手前シンボル活性化計画検討委員会」を設立し、経年の地域課題でもある交通マネジメントを含む大手前駐車場利活用にむけた事業構想を各諸団体と検討しています。

また、2月16日には公社設立20周年を記念して永楽館にて式典を行い、来賓をはじめ多数の株主様にご参加頂き、講演会や落語を含め祝賀会を盛大におこないました。今後も各諸団体と連携を図り、まちづくりの発展に貢献できるように、積極的に取り組んで参ります。

## II. 当社の概要 (平成31年3月31日現在)

### (1) 資本金

区 分	当 期 末
資 本 金	98,000,000 円

### (2) 株式の状況

発行済株式総数	1,960 株
当期末株主総数	343 名

大 株 主	保有株数	持ち株比率
豊 岡 市	400 株	20.40%
NPO 法人但馬國出石観光協会	100 株	5.10%
豊 岡 市 商 工 会	60 株	3.06%

### (3) 役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役社長	大 橋 直 人
代表取締役副社長	森 脇 敬
取 締 役	奥 村 忠 俊
取 締 役	川 見 善 明
取 締 役	徳 網 進
取 締 役	川 原 千 尋
取 締 役	山 本 和 則
取 締 役	山 下 眞
取 締 役	田 中 藤 一 郎
監 査 役	榮 木 雅 一
監 査 役	永 井 秀 和

### (4) 従業員の状況

区 分	人 数	構 成
正 社 員	9 人	男性 5 人 女性 4 人
契 約 社 員	4 人	女性 4 人
パ ー ト 社 員	5 人	女性 5 人
合 計	18 人	

シルバー人材センター (派遣)	6 人	男性 6 人
観 光 ガ イ ド	6 人	男性 3 人 女性 3 人

## (5) 事業内容

1. まちづくり活性化推進事業
2. 出石観光散策ガイド事業
3. 総合観光案内事業
4. 「いずし観光センター」物産販売事業
5. 「和カフェ」飲食販売事業
6. 「出石びっ蔵」集合貸店舗事業
7. 「大手前駐車場」運営事業
8. 「いずしトラベルサービス」旅行業
9. 「出石永楽館」受託管理運営事業
10. 「旅籠西田屋」簡易宿所事業

## (6) 主な地域貢献事業

1. 出石藩きもの祭り協賛	50万円
2. お城祭り協賛	30万円
3. 初午祭協賛	30万円
4. 続100名城選定1周年 藤田達生氏歴史講演会	20万円
5. 出石高校歌舞伎学生優待80名	36万円
6. 設立20周年記念出石城跡桜植樹	45万円
7. 出石歴史文化交流館(武家長屋)	14万円
8. 観光協会パンフレット作成協賛	30万円
合計	255万円

## (7) まちづくり活動助成金

1. 有子山城跡を登ろう会	有子山城跡景観整備及び自然保護保全活動
2. 出石ミズアオイの会	ミズアオイの保護及び谷山川美化活動
3. 出石皿そば協同組合	農と食(店)をつなぐプロジェクト
4. 奥山観光ほたるの郷	奥山地区活動事業
5. 齋藤顕彰会 静思塾	人材育成事業
6. すいっち出石	クリーム・クラフトキャラバン事業
7. 但馬一宮日槍会	天のひぼこ物語講演会
8. 豊岡市商工会青年部出石支部	ICAP事業「出石城跡周辺清掃事業」

合計 116万6千円

[決議事項]

第1号議案 第21期計算書類承認の件

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(1) 貸借対照表

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 34,619,522】	【流動負債】	【 16,449,235】
現金及び預金	26,800,705	買掛金	7,974,675
売掛金	1,633,859	未払金	5,047,478
商品	4,394,310	前受金	228,285
貯蔵品	163,296	預り金	1,645,297
前払費用	21,430	入館預り金	21,600
未収入金	1,566,585	法人税等充当金	452,700
仮払金	39,337	未払消費税	1,079,200
【固定資産】	【 222,055,234】	【固定負債】	【 25,517,773】
(有形固定資産)	( 214,866,877)	長期借入金	20,726,000
建物	26,967,844	預り保証金	4,791,773
建物附属設備	12,095,288	負債の部計	41,967,008
構築物	140,606	純資産の部	
什器備品	963,139	【株主資本】	【 214,707,748】
土地	174,700,000	[資本金]	[ 98,000,000]
(無形固定資産)	( 1,511,757)	[利益剰余金]	[ 116,707,748]
ソフトウェア	1,511,757	利益準備金	24,500,000
(投資その他の資産)	( 5,676,600)	(その他利益剰余金)	( 92,207,748)
出資金	10,000	退職給付積立金	4,500,000
保証金	3,550,000	まちづくり積立金	5,515,000
保険積立金	2,116,600	別途積立金	73,000,000
		繰越利益剰余金	9,192,748
		(うち当期純利益)	( 5,326,657)
		純資産の部計	214,707,748
資産の部計	256,674,756	負債・純資産の部計	256,674,756

## (2) 損益計算書

(単位：円)

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

科 目	金	額
【売 上 高】		
売 上 高	230,106,005	
案 内 等 収 入	1,332,500	
駐 車 場 売 上	21,376,200	252,814,705
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	3,718,957	
仕 入 高	144,382,566	
合 計	148,101,523	
期 末 棚 卸 高	4,394,310	143,707,213
売 上 総 利 益		109,107,492
【販売費及び一般管理費】		103,889,955
営 業 利 益		5,217,537
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	289	
受 取 手 数 料	1,032,700	
雑 収 入	2,452,758	3,485,747
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 ・ 割 引 料	195,088	
ま ち づ くり 助 成 金	1,166,000	
ま ち づ くり 積 立 金 取 崩 額	△1,166,000	
寄 付 金	1,000,000	
雑 損 失	54,383	1,249,471
経 常 利 益		7,453,813
税 引 前 当 期 純 利 益		7,453,813
法 人 税 等 充 当 額		2,127,156
当 期 純 利 益		5,326,657

(単位：円)

## (3) 販売費及び一般管理費内訳書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	1,620,000	
給 料 手 当	32,964,410	
福 利 厚 生 費	8,602,387	
雑 給	14,257,015	
シルバー委託費	4,961,274	
広 告 宣 伝 費	2,156,629	
運 賃	269,222	
燃 料 費	136,428	
衛 生 費	632,764	
購 読 費	43,954	
水 道 光 熱 費	5,997,870	
事 務 費	1,079,767	
消 耗 品 費	2,972,601	
地 代 家 賃	1,206,200	
支 払 保 険 料	804,695	
修 繕 費	576,562	
租 税 公 課	8,476,027	
減 価 償 却 費	5,576,339	
接 待 交 際 費	1,767,352	
旅 費 交 通 費	1,054,860	
通 信 費	927,854	
支 払 手 数 料	1,670,463	
賃 借 料	893,188	
諸 会 費	564,450	
舞 台 維 持 費	1,329,048	
会 議 費	31,713	
業 務 委 託 料	1,746,174	
雑 費	1,570,709	
合 計		103,889,955

(4) 株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

株式会社 出石まちづくり公社

(単位：円) 自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

	株主資本				資本剰余金			株主資本		純資産合計
	資本金	資本準備金	その他の資本剰余金	利益剰余金	利益準備金	その他の利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	98,000,000			89,027,091	24,500,000			211,527,091		211,527,091
当期変動額						4,980,000		4,980,000		4,980,000
剰余金の配当						5,326,657		5,326,657		5,326,657
当期純利益						41,166,000		41,166,000		41,166,000
まちづくり積立金取崩額						3,180,657		3,180,657		3,180,657
当期変動額合計					24,500,000	92,207,748		214,707,748		214,707,748
当期末残高	98,000,000			92,207,748	24,500,000			214,707,748		214,707,748

	利益剰余金の内訳		利益剰余金の内訳		利益剰余金合計
	利益準備金	その他の利益剰余金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	24,500,000	3,681,000	13,816,091	113,527,091	113,527,091
当期変動額					
剰余金の配当		3,000,000	4,980,000	4,980,000	4,980,000
剰余金の内訳科目間の振替			49,000,000	49,000,000	0
当期純利益		41,166,000	5,326,657	5,326,657	5,326,657
まちづくり積立金取崩額		1,834,000	41,653,343	41,653,343	41,653,343
当期変動額合計	4,500,000	5,515,000	9,192,748	116,707,748	116,707,748
当期末残高	24,500,000	5,515,000	9,192,748	116,707,748	116,707,748

## (5) 個別注記表

株式会社 出石まちづくり公社

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 資産の評価基準及び評価方法

##### たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料 …………… 最終仕入原価法による原価法

商 品 …………… 最終仕入原価法による原価法

#### 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に  
取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

#### 収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

#### その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

### 2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …………… 43,040,499 円

### 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 1,960 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

#### ③当事業年度中に行った剰余金の処分に関する事項

平成30年6月26日開催の第20期事業年度の定時株主総会で決議

配当金の総額(年1.0%) …………… 980,000 円

まちづくり積立金 …………… 3,000,000 円

別途積立金 …………… 6,000,000 円

#### ④当事業年度末日以後に行う剰余金の処分に関する事項

令和元年6月25日開催予定の第21期事業年度の定時株主総会で決議予定

配当金の総額(年1.0%) …………… 980,000 円

配 当 原 資 …………… 利益剰余金

1株当りの配当金 …………… 500 円

配当基準日 …………… 平成31年3月31日

効力発生日 …………… 令和元年6月25日

まちづくり積立金 …………… 1,500,000 円

退職給付積立金 …………… 1,000,000 円

別途積立金 …………… 2,500,000 円

繰越利益剰余金 …………… 3,212,748 円

### 4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 109,544 円 76 銭

1株当たりの当期純利益金 …………… 2,717 円 68 銭